

春を切り取る

～いつもの写生、視点を変えると?～

- めあて
- 自分の身の回りの美しい情景を表す。
 - 自分の感じたことが伝わるように工夫する。
- 準備物
- 画用紙、カッター、裁断機（教師）
 - お菓子の空き箱、コンパス、ものさし（児童）



学習の流れ	実践上の留意点
<p>○学校内で自分が春らしいと感じるスポットを探す。</p> <p>○自分のお気に入りの場所を好きな形や大きさの画用紙に描く。</p> <p>○できあがった作品を 1 枚の画用紙にレイアウトし、気に入った場所に貼る。</p> <p>○『春らんまん展覧会』をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 見つけた風景と箱で作ったスケールを通して見える風景の違いやおもしろさに気づかせる。（箱を円形に切り取ったり、いろいろな大きさの正方形、長方形などに切り取ったりして持たせる。） • 友達の見つけた面白さを共有する時間を持つ。 • アップとルーズの面白さも見つけさせるとよい。 • 自分の思いを活かしながら自分でサイズや形を決めて切って描く。（線だけかいておき、後で切ってもよい。） • 重なっても、何枚貼ってもいいことを告げる。 • 絵を見ながらのお花見給食としても楽しい。 • 「夏見つけ」や「秋探し」などとし、切り取りスケールをもってさがす活動を展開、継続すると一年を通して楽しめる。